



ONTAP アカウントのモニタリングとレポート作成

この章の内容は、次のとおりです。

- [ONTAP アカウントのモニタリングとレポート作成について \(1 ページ\)](#)
- [ディスクについて \(2 ページ\)](#)
- [ファイラの管理 \(3 ページ\)](#)
- [仮想マシンの管理 \(3 ページ\)](#)
- [インターフェイスの管理 \(7 ページ\)](#)
- [IP スペースの管理 \(8 ページ\)](#)
- [vFiler の管理 \(9 ページ\)](#)
- [集約の管理 \(13 ページ\)](#)
- [イニシエータ グループの管理 \(16 ページ\)](#)
- [LUN の管理 \(18 ページ\)](#)
- [ボリュームの管理 \(20 ページ\)](#)
- [SnapMirror 関係の管理 \(26 ページ\)](#)
- [SnapVault 関係の管理 \(30 ページ\)](#)
- [QTree の管理とクォータの作成 \(32 ページ\)](#)
- [システム タスクの管理 \(34 ページ\)](#)

ONTAP アカウントのモニタリングとレポート作成について

Cisco UCS Director に、ONTAP アカウントのそれぞれに含まれるすべてのマネージドコンポーネントが表示されます。これらのコンポーネントはハードウェアまたはソフトウェアです。また、コンポーネントを追加したり、コンポーネントをセットアップしたり、検出または追加されたコンポーネントごとのレポートを表示したりすることもできます。

モニタリングできるコンポーネント

各コンポーネントをモニタして、それらの作成、削除、変更などのタスクを実行できます。次のコンポーネントが ONTAP アカウントでモニタされます。

- 集約
- ボリューム
- QTree
- クォータ
- VM
- LUN
- ディスク
- イニシエータ グループ
- イニシエータ
- ライセンス
- SnapMirror
- SnapVault
- vFiler
- IP スペース
- インターフェイス
- FC アダプタ
- NFS エクスポート
- CIFS 共有

ディスクについて

ディスクは集約内にまとめてグループ分けされます。集約はそれに関連付けられたボリュームにストレージを提供します。

[ディスク (Disks)] をクリックすると、そのアカウントで使用可能なすべてのディスクが表示されます。ディスクの行をクリックして [詳細の表示 (View Details)] をクリックすると、ディスクの概要の詳細が表示されます。

ファイラの管理

NetApp ファイラは、ファイルシステムを所有して管理し、ネットワーク経由でファイルとディレクトリを提供する一種のディスクストレージデバイスです。Data ONTAP という名前のオペレーティングシステムが使用されます。

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックすると、次のアクションが使用可能になります。

Action	説明
詳細の表示	選択したコンポーネントの現在のステータスに関する情報を表示します。
[ネットワーク設定の持続 (Persist Network Configuration)]	過去に保存した永続的なコンフィギュレーションと新しく生成された永続的なコンフィギュレーションの間で検出された変更の数を表示します。
ホストの追加	ホストアドレス解決のためにリモートシステムの IP アドレスと名前を更新できるようにします。

仮想マシンの管理

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [VM (VMs)] をクリックします。
VM を選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
詳細の表示	VM の要約とサービス要求詳細を表示します。
[スタック ビュー (Stack View)]	VM のスタック ビューを表示します。
[VM クレデンシャルにアクセス (Access VM Credentials)]	VM のクレデンシャルを表示します。
Launch VM Client	次のアクセススキームのいずれかを通して VM クライアントを起動します。 <ul style="list-style-type: none">• Web Access• リモート デスクトップ• VMRC コンソール

Action	説明
<p>[VM の割り当て (Assign VM)]</p>	<p>ユーザグループとユーザに VM を割り当てます。</p> <p>ユーザグループとユーザに VM を割り当てるには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [VM名 (VM Name)] フィールド：表示専用。VM の名前。 • [ユーザグループ (User Group)] ドロップダウンリスト：VM を割り当てるユーザグループを選択します。 <p>(注) 仮想データセンター (VDC) が有効になっているグループだけを選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ユーザに割り当て (Assign to Users)] チェックボックス：ユーザに VM を割り当てる場合に、このチェックボックスをオンにします。[ユーザに割り当て (Assign to Users)] チェックボックスをオンにすると表示される [ユーザ (User)] ドロップダウンリストからユーザを選択します。 • [vDC] ドロップダウンリスト：リストから vDC を選択します。 • [カテゴリ (Category)] ドロップダウンリスト：VM を分類する必要があるカテゴリを選択します。 • [VMユーザラベル (VM User Label)] フィールド：VM ユーザのラベル。 • [プロビジョニング時間の設定 (Set Provision Time)] チェックボックス：VM をプロビジョニングする必要がある時間を設定する場合に、このチェックボックスをオンにします。[プロビジョニング時間の設定 (Set Provision Time)] チェックボックスをオンにすると表示される [プロビジョニング日時 (Provision Date/Time)] フィールドで日付と時刻を設定します。 • [コメント (Comments)] フィールド：コメント (ある場合) 。
<p>[リース時間の設定 (Configure Lease Time)]</p>	<p>VM を設定するためのリース時間を設定します。</p>

Action	説明
Resize VM	<p>VM のサイズを変更します。</p> <p>VM のサイズを変更するには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [VM名 (VM Name)]フィールド：表示専用。VM の名前。 2. [現在の割り当てCPU (Current Allocated CPU)]フィールド：表示専用。VM に割り当てられたCPU の現在のサイズ。 3. [現在の割り当てメモリ(GB) (Current Allocated Memory (GB))]フィールド：表示専用。VM の現在の割り当てメモリ。 4. [新しいCPU数 (New CPU Count)]ドロップダウンリスト：VM の新しいCPU サイズを選択します。 5. [新しいメモリ (New Memory)]ドロップダウンリスト：VM の新しいメモリ サイズを選択します。
Power ON	<p>VM をオンにします。</p> <p>VM をオンにするには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [VM名 (VM Name)]フィールド：表示専用。VM の名前。 2. [タスク (Task)]フィールド：表示専用。VM に適用されるタスク。 3. [コメント (Comments)]フィールド：コメント (ある場合)。 4. [アクションのスケジュール設定 (Schedule Action)]ペイン：[今すぐ実行 (Execute Now)]または[あとで実行 (Execute Later)]を選択して、今すぐまたはあとでVM をオンにします。 <p>(注) VM をオンにしたら、VM レベルインベントリ収集を実行して、更新された IP アドレスを取得します。</p>

Action	説明
Power OFF	<p>VM をオフにします。</p> <p>VM をオフにするには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [VM名 (VM Name)] フィールド：表示専用。VM の名前。 [タスク (Task)] フィールド：表示専用。VM に適用されるタスク。 [コメント (Comments)] フィールド：コメント (ある場合)。 [アクションのスケジュール設定 (Schedule Action)] ペイン：[今すぐ実行 (Execute Now)] または [あとで実行 (Execute Later)] を選択して、今すぐまたはあとで VM をオフにします。

インターフェイスの管理

ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [インターフェイス (Interfaces)] をクリックします。

VLAN の作成

ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [インターフェイス (Interfaces)] をクリックします。

ステップ8 [VLAN の作成 (Create VLAN)] をクリックして次の必須フィールドに値を入力します。

- a) [インターフェイスを選択 (Select Interface)] ドロップダウンリストで、物理インターフェイスとインターフェイス グループのリストからネットワーク インターフェイスを選択します。
- b) [VLAN ID] フィールドに 0 ~ 4094 の範囲の値を入力します。

ステップ9 [作成 (Create)] をクリックします。

IP スペースの管理

IP スペースは vFiler ユニットが参加可能な個別の IP アドレス空間を定義します。IP スペースに対して定義された IP アドレスは、その IP スペースにしか適用できません。IP スペースごとに個別のルーティング テーブルが維持されます。IP スペース横断トラフィックはルーティングされません。

ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [IP スペース (IP Spaces)] をクリックします。

IP スペースを選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
Create	ファイラで IP スペースを作成します。
詳細の表示	IP スペースのサービス要求詳細を表示します。
削除	確認後に、選択された IP スペースを削除します。
Assign	VLAN に IP スペースを割り当てます。

IP スペースの作成

ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

- ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [IP スペース (IP Spaces)] をクリックします。
- ステップ8 [作成 (Create)] をクリックして、[IP スペース名 (IP Space Name)] フィールドに IP スペース名を入力します。
- ステップ9 [作成 (Create)] をクリックします。

vFiler の管理

vFiler は、物理コントローラ内で個別の仮想ファイラ インスタンスを作成する ONTAP 7 モード仮想コンテナです。vFiler を使用すれば、単一のストレージシステムのストレージとネットワーク リソースを分割することによって、ネットワーク上の複数のストレージシステムとして表示できます。

- ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [vFiler (vFilers)] をクリックします。
- vFiler を選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
Create	NetApp ONTAP アカウントで vFiler を作成します。
セットアップ	vFiler をセットアップします。
[CIFSの設定 (Setup CIFS)]	CIFS サーバを vFiler 用にセットアップします。
[CIFSの停止 (Stop CIFS)]	vFiler 用に設定された CIFS サービスを停止します。
削除	vFiler を削除します。

Action	説明
詳細の表示	<p>vFiler のストレージ要約を表示します。次の vFiler コンポーネントに関する詳細については、ウィンドウでタブをクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ボリューム • LUN • Qtree • クォータ • イニシエータ グループ • イニシエータ • SnapMirror • NFS エクスポート • CIFS 共有 • サービス リクエストの詳細
[グループ割り当て (Assign Group)]	<p>グループに vFiler を割り当てます。次のフィールドに値を入力し、[送信 (Submit)]をクリックします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザに割り当て (Assign To Users)]チェックボックス：ユーザへのリソース割り当てを許可する場合に、このチェックボックスをオンにします。 2. [グループ (Group)]ドロップダウンリスト：vFilerを割り当てる必要のあるグループを選択します。 3. [ラベル (Label)]フィールド：割り当てられたグループのラベルを入力します。
ホストの追加	<p>vFiler にホストを追加します。次のフィールドに値を入力し、[送信 (Submit)]をクリックします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ホスト IP (Host IP)]フィールド：ホスト IP アドレスを入力します。 2. [ホスト名 (Host Name)]フィールド：ホストの名前を入力します。

vFiler の作成

始める前に

IP スペースが作成され、VLAN に割り当てられていることを確認します。

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [vFiler (vFilers)] をクリックします。
- ステップ 8 [作成 (Create)] をクリックします。
- ステップ 9 [vFiler の作成 (Create vFiler)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[IP スペース名の選択 (Select IP Space Name)] ドロップダウンリスト	vFiler で複数の IP アドレス空間 (ipSpace) の設定を制御する IP スペースを選択します。
[vFiler 名 (vFiler Name)] フィールド	この vFiler に割り当てる一意の名前を入力します。
[IP Address] フィールド	vFiler の IP アドレスを入力します。
[ストレージユニットの選択 (Select Storage Unit)] ドロップダウンリスト	リストからストレージユニットを選択します。

- ステップ 10 [作成 (Create)] をクリックします。

vFiler のセットアップ

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [vFiler (vFilers)] をクリックします。

vFiler 用の CIFS サーバのセットアップ

ステップ 8 vFiler の行をクリックし、[セットアップ (Setup)]をクリックします。

ステップ 9 [vFiler のセットアップ (Setup vFiler)]画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Subnet Mask] フィールド	vFiler のサブネット マスクを入力します。
[DNS Domain] フィールド	DNS ドメインを入力します。
[DNSサーバアドレス (DNS Server Addresses)] フィールド	DNS サーバの IP アドレスをカンマで区切って入力します。
[Default Gateway] フィールド	デフォルト ゲートウェイ IP アドレスを入力します。
[Interface Name] ドロップダウンリスト	VLAN インターフェイスを選択します。
[プロトコル (Protocols)] チェックボックス	vFiler がサポートする各プロトコルのチェック ボックスをオンにします。 <ul style="list-style-type: none"> • IP • TCP • UDP • ICMP

ステップ 10 [Submit] をクリックします。

vFiler 用の CIFS サーバのセットアップ

ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [vFiler (vFilers)] をクリックします。

ステップ 8 vFiler の行をクリックし、[CIFS の設定 (Setup CIFS)] をクリックします。

ステップ 9 [CIFS の設定 (Setup CIFS)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[認証 (Authentication)] ドロップダウンリスト	[Active Directory] を選択します。 認証スタイルによって、クライアントが CIFS サーバに接続するときに認証される方式が決まります。
[セキュリティスタイル (Security Style)] ドロップダウンリスト	[NTFS] または [マルチプロトコル (Multi-Protocol)] を選択します。 セキュリティスタイルによって、CIFS サービスがマルチプロトコルアクセスをサポートするかどうかが決まります。
[DNS ドメイン名 (DNS Domain Name)] フィールド	CIFS サーバが参加するドメインの名前を入力します。 NetBIOS、または cifsdomain や cifs.domain.com などの完全修飾ドメイン名を使用できます。
[ログインユーザ (Login User)] フィールド	[DNS ドメイン名 (DNS Domain Name)] フィールドで指定されたドメインに CIFS サーバを追加できるドメインユーザの名前を入力します。
[ログインパスワード (Login Password)] フィールド	ログインユーザのパスワードを入力します。
[Organizational Unit] フィールド	組織単位の名前を入力します。
[サイト名 (Site Name)] フィールド	CIFS サービスがメンバーになるサイトの名前を入力します。
[vFilerルートパスワード (vFiler Root Password)] フィールド	vFiler ルートユーザのパスワードを入力します。

- ステップ 10** [Submit] をクリックします。
この設定が完了すると、CIFS サービスが自動的に開始します。CIFS サービスを停止するには、[CIFSの停止 (Stop CIFS)] をクリックします。

集約の管理

集約は、RAID レベルミラーリングを利用するかどうかによって、1プレックスまたは2プレックスのコレクションになります。プレックスは、ファイルシステム ボリュームにストレージを提供する 1 つ以上の RAID グループのコレクションです。集約がミラー化されていない場合は、単一のプレックスで構成されます。SyncMirror 機能がライセンスされ、有効になっている場合は、Data ONTAP が、集約内の最初のプレックスに対する RAID レベルのミラーとして機能する 2 つ目のプレックスを集約に追加します。

- ステップ 1** [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [集約 (Aggregates)] をクリックします。

集約を選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
Create	NetApp ONTAP アカウントで集約を作成します。
削除	既存の集約を削除します。
Online	集約をオンライン状態に移行します。
Offline	集約をオフライン状態に移行します。
ディスクの追加	集約にディスクを追加します。
[タグの管理 (Manage Tags)]	<p>集約にタグを追加したり、割り当てられたタグを編集したり、集約グループからタグを削除したりします。</p> <p>(注) タグ付け可能なエンティティが物理ストレージおよび NetApp 集約として割り当てられたタグが表示されます。タブライブラリの詳細については、『Cisco UCS Director Administration Guide』を参照してください。</p>
[タグの追加 (Add Tags)]	<p>集約にタグを追加します。</p> <p>(注) タグ付け可能なエンティティが物理ストレージおよび NetApp 集約として割り当てられたタグが表示されます。タブライブラリの詳細については、『Cisco UCS Director Administration Guide』を参照してください。</p>

Action	説明
[タグの削除 (Delete Tags)]	集約からタグを削除します。 (注) タグ付け可能なエンティティが物理ストレージおよび NetApp 集約として割り当てられたタグが表示されます。タブ ライブラリの詳細については、『 Cisco UCS Director Administration Guide 』を参照してください。

集約の作成

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージ ファイラ (Storage Filer)] ページで [集約 (Aggregates)] をクリックします。
- ステップ 8 [作成 (Create)] をクリックします。
- ステップ 9 [集約の作成 (Create Aggregate)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[集約名 (Aggregate Name)] フィールド	集約の名前を入力します。
[ディスク数 (Disk Count)] フィールド	集約内のディスクの数を入力します。
[ディスク リスト (Disk List)] チェック ボックス	選択するディスクのチェック ボックスをオンにします。
[RAIDタイプ (Raid Type)] ドロップダウンリスト	RAID タイプを選択します。

- ステップ 10 [Submit] をクリックします。

イニシエータ グループの管理

イニシエータグループ (igroup) は、どのホストがストレージシステム上の指定された論理ユニット番号 (LUN) にアクセスできるかを指定します。イニシエータグループはプロトコル固有です。

- ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [イニシエータグループ (Initiator Groups)] をクリックします。

イニシエータグループを選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
詳細の表示	選択されたイニシエータグループのサービス要求詳細を表示します。
Create	NetApp ONTAP アカウントでイニシエータグループを作成します。
削除	イニシエータグループを削除します。
[ALUA]	非対称論理ユニットアクセス (ALUA) プロトコルを有効にして、ストレージシステムとホスト間の最適なパスを識別できるようにします。

イニシエータグループの作成

- ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

- ステップ7** [ストレージ ファイラ (Storage Filer)] ページで [イニシエータ グループ (Initiator Groups)] をクリックします。
- ステップ8** [作成 (Create)] をクリックします。
- ステップ9** [イニシエータ グループの作成 (Create Initiator Group)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[イニシエータグループ名 (Initiator Group Name)]	このイニシエータ グループに割り当てる一意の名前を入力します。
[グループタイプ (Group Type)] ドロップダウンリスト	イニシエータ グループのタイプとして次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ISCSI] • FCP
[OS タイプ (OSType)] ドロップダウンリスト	グループ内のイニシエータの OS タイプを選択します。
[ポートセット (Portset)] フィールド	新しく作成された igroup にバインドする現在のポートセットの名前を入力します。

- ステップ10** [作成 (Create)] をクリックします。

イニシエータの作成

イニシエータは、イニシエータ グループの一部です。イニシエータ グループにイニシエータを追加できます。

- ステップ1** [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ2** [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3** [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4** NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5** [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6** ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ7** [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [イニシエータ (Initiators)] をクリックします。
- ステップ8** [作成 (Create)] をクリックします。
- ステップ9** [イニシエータの作成 (Create Initiator)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[イニシエータグループ名 (Initiator Group Name)] ドロップダウンリスト	イニシエータを追加するイニシエータ グループを選択します。
[Initiator Name] フィールド	このイニシエータに割り当てる一意の名前を入力します。
[Force] チェックボックス	グループにイニシエータを強制的に追加するには、このチェックボックスをオンにします。

ステップ 10 [作成 (Create)] をクリックします。

LUN の管理

論理ユニット番号 (LUN) は、ファイバチャネルや iSCSI などの SCSI プロトコルまたは同様のプロトコルによってアドレス指定されるデバイスである論理ユニットを識別するために使用されます。LUN は、ストレージエリアネットワーク (SAN) 経由で共有されたブロックストレージアレイの管理で中心的役割を果たします。

ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [LUN (LUNs)] をクリックします。

LUN を選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
Create	NetApp ONTAP アカウントで LUN を作成します。
詳細の表示	LUN の要約とサービス要求詳細を表示します。
[接続の表示 (View Connectivity)]	データストアへの LUN の接続を表示します。Cisco UCS Director は、4 種類の表示モード ([階層 (Hierarchical)]、[同心 (Concentric)]、[円形 (Circular)]、および [強制的実行 (Force Directed)]) を提供します。選択した表示モードに応じて、項目のスペース設定、距離、半径、厳密性、および強制距離を調整できます。

Action	説明
On/Off	LUN をオンラインまたはオフライン状態に移行します。
[iGroup のマップ解除 (UnMap iGroup)]	選択された LUN から iGroup をマップ解除します。
[iGroup のマッピング (Map iGroup)]	LUN を既存のイニシエータ グループの 1 つにマップします。[イニシエータグループ (Initiator Group)] ドロップダウンリストから iGroup を選択します。LUN ID を指定する場合は、[LUN ID の指定 (Specify LUN ID)] チェック ボックスをオンにします。指定しなかった場合は、LUN ID が自動的に生成されます。
[サイズ変更 (Resize)]	LUN のサイズを変更します。 LUN のサイズを変更するには、次のフィールドに値を入力します。 <ol style="list-style-type: none"> [新しいサイズ (New Size)] フィールド : LUN の必要なサイズを入力します。 [サイズの単位 (Size Unit)] ドロップダウン リスト : [MB]、[GB]、または [TB] から LUN サイズの単位を選択します。
移動	新しいパスに LUN を移動します。
Clone	別の宛先内の LUN を複製します。
[ID の変更 (Modify ID)]	LUN ID を変更します。
削除	LUN を削除します。

LUN の作成

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [LUN (LUNs)] をクリックします。

ステップ8 [作成 (Create)] をクリックします。

ステップ9 [LUN の作成 (Create LUN)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[ボリュームの選択 (Select Volume)] リスト	ボリュームのリストを展開して、LUN を作成するボリュームを選択します。
[LUN名 (LUN Name)] フィールド	LUN の名前を入力します。
[LUNサイズ (LUN Size)] フィールド	作成する LUN のサイズを入力します。
[サイズの単位 (Size Unit)] ドロップダウンリスト	[MB]、[GB]、または[TB] としてボリュームサイズを選択します。
[OS タイプ (OSType)] ドロップダウンリスト	リストから OS タイプを選択します。
[容量予約 (Space Reserve)] チェック ボックス	デフォルトで、LUN に予約スペースが割り当てられます。スペース使用率を手動で管理し、スペースを予約せずに LUN を作成する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

ステップ10 [作成 (Create)] をクリックします。

ボリュームの管理

ボリュームは、NFS マウントを介して UNIX ホストにまたは CIFS 共有を介して Windows ホストにエクスポートするときに構造がユーザに認識される論理ファイルシステムです。ボリュームは最も包括的な論理コンテナです。ファイルとディレクトリ、Qtree、および LUN を保存できます。

ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [ボリューム (Volumes)] をクリックします。

ボリュームを選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
詳細の表示	<p>ボリューム コンポーネントに関する詳細など、ボリュームの概要を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Qtree • LUN • VM • Snapshot • サービス リクエストの詳細
Create	NetApp ONTAP アカウントでボリュームを作成します。
削除	ボリュームを削除します。
[サイズ変更 (Resize)]	<p>既存のボリュームのサイズを変更します。</p> <p>ボリュームのサイズを変更するには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [新しいサイズ (New Size)] フィールド：ボリュームの必要なサイズを入力します。 2. [サイズの単位 (Size Units)] ドロップダウンリスト：[MB]、[GB]、または [TB] からボリュームのサイズを選択します。 3. [ファイル システム サイズの固定 (File System Size Fixed)] チェック ボックス：ファイル システム サイズを固定する場合に、このチェック ボックスをオンにします。
Offline	ボリュームをオフライン状態に移行します。
Online	ボリュームをオンライン状態に移行します。
[重複除去オン (Dedup On)]	ボリュームのデータ重複除去を有効にします。
[重複除去オフ (Dedup Off)]	ボリュームのデータ重複除去を無効にします。

Action	説明
[NFS エクスポート (NFS Export)]	<p>NFS を介してボリュームをファイルとしてエクスポートします。</p> <p>ボリュームをエクスポートするには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [エクスポートパス (Export Path)]フィールド：UNIX 環境でボリュームをマウントするパスを入力します。 2. [読み取り/書き込みホスト (Read-Write Hosts)]フィールド：ボリュームへの読み取り/書き込みアクセス権が付与されたホストをカンマで区切って入力します。 3. [ルート ホスト (Root Hosts)]フィールド：ボリュームへのルートアクセス権が付与されたホストをカンマで区切って入力します。 4. [セキュリティ (Security)]ドロップダウンリスト：このエクスポートに適用可能なセキュリティを選択します。 5. [NFSエクスポートルールの持続 (Persists NFS Export Rule)]チェック ボックス：NFS エクスポートルールを維持する場合に、このチェックボックスをオンにします。
Snapshot	<p>ボリュームのスナップショットを作成します。</p> <p>ボリュームのスナップショットを作成するには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [スナップショット名 (Snapshot Name)]フィールド：スナップショットの名前を入力します。 2. [有効な LUN 複製スナップショットである (Is Valid LUN Clone Snapshot)]チェック ボックス：snapvault からスナップショットの作成を要求された場合に LUN クローンのすべてのバックアップスナップショットがロックされるように、このチェック ボックスをオンにします。 3. [非同期 (Async)]チェック ボックス：スナップショットを非同期に作成する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

Action	説明
[スナップショットのサイズ変更 (Resize Snapshot)]	<p>ボリュームに割り当てられたスナップショット領域のサイズを変更します。ボリューム内部の領域は、ボリューム上で取得されたスナップショットに対してパーセンテージで定義できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [現在の予約済みスナップショット(%) (Current Snapshot Reserved (%))]: 表示専用。スナップショット用に予約されたボリューム領域の現在のパーセンテージ。 2. [新しいパーセンテージ (%) (New Percentage (%))]: スナップショット用に予約するボリューム領域のパーセンテージを入力します。

ボリュームの作成

- ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [ボリューム (Volumes)] をクリックします。
- ステップ8 [作成 (Create)] をクリックします。
- ステップ9 [フレキシブルボリュームの作成 (Create Flexible Volume)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[集約 (Aggregate)] リスト	ボリュームを作成する集約を選択します。
[容量保証 (Space Guarantee)] ドロップダウンリスト	<p>集約内のボリュームにスペースを割り当てる容量保証として次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [音量 (Volume)] • ファイル • なし
[ボリューム名 (Volume Name)] フィールド	ボリュームの名前を入力します。

名前	説明
[ボリュームサイズ (Volume Size)] フィールド	作成するボリュームのサイズを入力します。
[サイズの単位 (Size Unit)] ドロップダウンリスト	[MB]、[GB]、または[TB]としてボリュームサイズを選択します。
[スナップショットのサイズ (%) (Snapshot Size (%))] フィールド	スナップショット サイズをパーセンテージとして入力します。
[セキュリティスタイルNTFS (Security Style NTFS)] チェック ボックス	セキュリティスタイルをNTFSに設定する場合に、このチェック ボックスをオンにします。
[NFSエクスポート (NFS Export)] チェック ボックス	NFSエクスポートパスを自動的に作成する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

ステップ10 [作成 (Create)] をクリックします。

CIFS 共有の作成

ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [ボリューム (Volumes)] をクリックします。

ステップ8 CIFS 共有を作成するボリュームの行をクリックします。

ステップ9 [その他のアクション (More Actions)] ドロップダウンリストから [CIFS 共有の作成 (Create CIFS Share)] を選択します。

ステップ10 [CIFS 共有の追加 (Add CIFS Share)] 画面で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[共有名 (Share Name)] フィールド	CIFS 共有に割り当てる一意の名前を入力します。
[Comment] フィールド	必要に応じてコメントを入力します。

ステップ11 [共有 (Share)] をクリックします。

CIFS 共有アクセスの設定

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [ボリューム (Volumes)] をクリックします。
- ステップ 8 CIFS 共有アクセスを設定するボリュームの行をクリックします。
- ステップ 9 [その他のアクション (More Actions)] ドロップダウンリストから [CIFS 共有アクセスの設定 (Set CIFS Share Access)] を選択します。
- ステップ 10 [CIFS 共有アクセスの設定 (Set CIFS Share Access)] 画面で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[共有名 (Share Name)] ドロップダウンリスト	アクセス権を提供する共有を選択します。
[ロールの選択 (Select Role)] ドロップダウンリスト	使用可能なリストからロールを選択します。
[ロールID (Role ID)] フィールド	ロール ID を入力します。
[Domain Name] フィールド	ドメイン名を入力します。
[アクセスタイプ (Access Type)] ドロップダウンリスト	アクセスタイプとして次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Read • Change • [フルコントロール (Full Control)] • [アクセスなし (No Access)]
[Comment] フィールド	必要に応じてコメントを入力します。

- ステップ 11 [Submit] をクリックします。

SnapMirror 関係の管理

NetApp SnapMirror ソフトウェアは、エンタープライズレベルのディザスタリカバリおよびデータ配信ソリューションです。SnapMirror は LAN または WAN 接続経由で 1 つ以上のネットワーク ファイラに高速でデータをミラーリングします。

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [SnapMirror (SnapMirrors)] をクリックします。

次の動作が設定可能です。

Action	説明
[接続の作成 (Create Connection)]	新しい SnapMirror 接続をセットアップします。
[接続の削除 (Delete Connection)]	SnapMirror 接続を削除します。
Remote Access	送信先ボリュームにリモートファイラ (送信元ファイラ) へのアクセスを提供します。
スケジュール	SnapMirror スケジュールを作成します。
Enable	SnapMirror をオンにします。
Disable	SnapMirror をオフにします。

- ステップ 8 いずれかの行をクリックすると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
インベントリ	SnapMirror インベントリを実行します。
詳細の表示	ステータス履歴を表示し、インベントリを編集、削除、またはスケジュールに基づいて実行できるようにします。

Action	説明
Initialize	<p>SnapMirror 関係を初期化します。SnapMirror 関係を初期化すると、次のアクションが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [休止 (Quiesce)] : 宛先への転送を一時停止します。 • [中断 (Break)] : SnapMirror 関係を解消します。処理が正常かどうかまたは処理が成功したかどうかをチェックすることはできません。結果は、インベントリがこのタスクで収集されたあとに更新されます。 • [更新 (Update)] : SnapMirror 関係を更新します。
削除	SnapMirror 関係を削除します。

SnapMirror 関係の設定

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [SnapMirror (SnapMirrors)] をクリックします。
- ステップ 8 [接続の作成 (Create Connection)] をクリックします。
- ステップ 9 [設定 (Configure)] 画面で、次のフィールドに入力します。

名前	説明
[接続名 (Connection Name)] ドロップダウンリスト	接続を変更する接続名を選択します。新しい接続を作成するには、[新しい接続 (New Connection)] を選択します。
[新しい接続名 (New Connection Name)] フィールド	新しい接続を設定する場合は、このフィールドに接続の名前を入力します。

名前	説明
[Mode] ドロップダウン リスト	モードのタイプとして次のいずれかを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • マルチ • フェールオーバー (注) マルチモードでは、最初のアドレス ペアが接続パスを提供します。フェールオーバーモードでは、最初のアドレスペアが優先接続パスを提供します。
[ソース アドレス (Source Address)] フィールド	[アドレス ペア 1 (Address Pair 1)] および [アドレス ペア 2 (Address Pair 2)] エリア内のファイラ名形式または IP アドレス形式の送信元アドレスです。
[接続先アドレス (Destination Address)] フィールド	[アドレス ペア 1 (Address Pair 1)] および [アドレス ペア 2 (Address Pair 2)] エリア内のファイラ名形式または IP アドレス形式の宛先アドレスです。

ステップ 10 [Submit] をクリックします。

SnapMirror 関係のスケジューリング

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージ アカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージ ファイラ (Storage Filer)] ページで [SnapMirror (SnapMirrors)] をクリックします。
- ステップ 8 [Schedules] をクリックします。
- ステップ 9 [スケジュール (Schedules)] 画面で、[スケジュール (Schedule)] リストを展開して [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 10 [スケジュールへのエントリの追加 (Add Entry to Schedule)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[ソースロケーション (Source Location)] フィールド	[ソースロケーション (Source Location)] リストを展開して、設定するスケジュールのソースロケーションを選択します。

名前	説明
[オプションの選択 (Select Option)] ドロップダウンボックス	次のオプションのいずれかを選択して、現在のファイルまたはvFiler内の既存のボリュームまたは新しいボリュームを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [既存の宛先 (Existing Destination)] • [新しい宛先 (New Destination)]
[宛先ロケーション (Destination Location)] ドロップダウンボックス	宛先ロケーションを選択します。
[Minutes] フィールド	スケジュールを設定する分。可能な値は次のとおりです。 (-) = どれとも一致しない、 (1) = 1分と一致する、 (1,3) = 1分または3分と一致する、 および (*) = 可能なすべての有効値と一致する。
[Hours] フィールド	スケジュールを設定する時間。可能な値は次のとおりです。 (-) = どれとも一致しない、 (1) = 1時間と一致する、 (1,3) = 1時間または3時間と一致する、 および (*) = 可能なすべての有効値と一致する。
[日付 (Days of Month)] フィールド	スケジュールを設定する日付。可能な値は次のとおりです。 (-) = どれとも一致しない、 (1) = 1日と一致する、 (1,3) = 1日または3日と一致する、 (2-5) = 2、3、4、5日と一致する、 および (*) = 可能なすべての有効値と一致する。
[曜日 (Days of Week)] フィールド	スケジュールを設定する曜日。0は日曜日を表し、6は土曜日を表します。可能な値は次のとおりです。 (-) = どれとも一致しない、 (1) = 1 (月曜日) と一致する、 (1,3) = 1 (月曜日) または3 (水曜日) と一致する、 (2-5) = 2、3、4、5 (火曜日～金曜日) と一致する、 および (*) = 可能なすべての有効値と一致する。
[最大転送率(KB) (Max Transfer Rate (KB))] フィールド	最大転送速度 (KB/秒)。

ステップ 11 [Submit] をクリックします。`

SnapVault 関係の管理

SnapVault はプライマリ ボリュームのスナップショット コピーをまとめたもので、データ損失またはシステム破損が発生した場合、最小限のダウンタイムで復元できます。SnapVault 関係は、[SnapMirror (SnapMirrors)] タブから管理できます。

ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージ アカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。

ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ 7 [ストレージ ファイラ (Storage Filer)] ページで [SnapVault] をクリックします。

SnapVault 関係を選択すると、次の追加のアクションが表示されます。

Action	説明
詳細の表示	選択したコンポーネントの現在のステータスに関する情報を表示します。
Create	新しい SnapVault 関係を設定します。
修正	既存の SnapVault 関係を更新します。
削除	SnapVault 関係を削除します。
リリース	SnapVault 関係をリリースします。
中断	SnapVault 転送が完了する前に転送を中断します。
[Update]	新しい SnapVault 転送を開始します。
Restore (復元)	前回の SnapVault 関係を復元します。

SnapVault 関係の作成

ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージ アカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [SnapVault] をクリックします。
- ステップ8 [作成 (Create)] をクリックします。
- ステップ9 [SnapVault の作成 (Create SnapVault)] 画面で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[送信元のパス (Source Path)] ドロップダウンリスト	データの転送元に設定する必要がある送信元 QTree を選択します。
[送信先ボリューム (Destination Volume)] ドロップダウンリスト	データのコピー先に設定する必要がある送信先ボリュームを選択します。
[新しい接続先 QTree 名 (New Destination QTree Name)] フィールド	データのコピー先に設定する必要がある新しい送信先 QTree 名を入力します。新しい QTree は選択された送信先ボリュームに作成されます。
[最大転送速度 (Maximum Transfer Rate)] フィールド	必要に応じて、転送可能なキロバイト数を入力できます。
[試行回数 (Tries Count)] フィールド	送信元ボリュームへの接続試行を最大何回実行してから試行を断念するかを指定します。
[接続モード (Connection Mode)] フィールド	転送のため送信元に接続する際の IP 接続モードを指定します。
[圧縮の使用 (Use Compression)] フィールド	送信元から転送されるデータが圧縮されている場合は、このオプションを [オン (On)] に設定します。

- ステップ10 [Submit] をクリックします。

SnapVault 関係のスケジュールとステータス履歴の表示

[SnapMirror (SnapMirrors)] から、SnapVault 関係のスケジュールとステータス履歴も確認できます。 [SnapMirror 関係の管理 \(26 ページ\)](#) を参照してください。

- ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

- ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [SnapVault] をクリックします。
- ステップ8 スケジュールとステータス履歴を確認する SnapVault 関係の行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ9 [他のレポート (More Reports)] ドロップダウン リストから、次のいずれかのレポートを選択します。
- スケジュール
 - [ステータス履歴 (Status History)]

QTree の管理とクォータの作成

QTree はパーティションの概念に似ています。また、サイズを制限するためにクォータを適用可能なボリュームのサブセットを作成します。特殊なケースとして、QTree をボリューム全体にすることができます。いつでも QTree のサイズを変更できることから、QTree はパーティションよりも柔軟です。

- ステップ1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [Qtree (Qtrees)] をクリックします。
- QTree を選択すると、次の追加アクションが表示されます。

Action	説明
削除	確認後に QTree を削除します。

Action	説明
[クォータの作成 (Create Quota)]	<p>QTree でクォータを作成します。</p> <p>クォータを作成するには、次のフィールドに値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ディスク容量のハード制限 (GB) (Disk Space Hard Limit (GB))] : GB 単位の最大ディスク容量値を入力します。 • [ディスク容量のソフト制限 (GB) (Disk Space Soft Limit (GB))] : GB 単位のソフト制限ディスク容量値を入力します。 • [ファイルのハード制限 (Files Hard Limit)] : クォータ内の最大ファイル数を入力します。 • [ファイルのソフト制限 (Files Soft Limit)] : クォータ内のファイル数のソフト制限を入力します。 • [しきい値 (GB) (Threshold (GB))] : GB 単位のしきい値制限ディスク容量値を入力します。 • [クォータタイプ (Quota Type)] : ドロップダウンリストから [ツリー (Tree)] を選択します。

QTree の作成

- ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。
- ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。
- ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージアカウント (Storage Accounts)] をクリックします。
- ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 5 [ファイラ (Filers)] をクリックします。
- ステップ 6 ファイラの行をクリックして、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- ステップ 7 [ストレージファイラ (Storage Filer)] ページで [ボリューム (Volumes)] をクリックします。
- ステップ 8 QTree を作成するボリュームの行をクリックします。
- ステップ 9 [その他のアクション (More Actions)] ドロップダウンリストから [QTree の作成 (Create QTree)] を選択します。
- ステップ 10 [QTree の作成 (Create QTree)] 画面で、[Qtree 名 (QTree Name)] フィールドに QTree の名前を入力します。

ステップ 11 [作成 (Create)] をクリックします。

システム タスクの管理

Multi-Node 設定は、インベントリ データの収集などのシステム タスクの処理を、プライマリ ノードから 1 つ以上のサービス ノードへオフロードしてスケーラビリティを向上させます。1 つ以上のサービス ノードに、特定のシステム タスクを割り当てることができます。システム タスクの処理のスケーリング方法は、ノードの数によって異なります。

ステップ 1 [物理 (Physical)] > [ストレージ (Storage)] を選択します。

ステップ 2 [ストレージ (Storage)] ページでポッドを選択します。

ステップ 3 [ストレージ (Storage)] ページで [ストレージ アカウント (Storage Accounts)] をクリックします。

ステップ 4 NetApp ONTAP アカウントの行をクリックし、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

ステップ 5 [システムのタスク (System Tasks)] をクリックします。

アカウントに対して定義されたタスクが表示されます。システム タスクの管理方法については、『[Cisco UCS Director Administration Guide](#)』を参照してください。
